

ゆのまえ 議会だより



11月号

平成30年
11月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

レールウィング周辺の未来像を描こう



P2 特集

レールウィング施設で交流人口を増やす

P4 本会議

平成29年度決算を全会一致で認定

P7 一般質問

一般質問の録画中継(YouTube 動画で試行)

P12 委員会

P14 研修

P15 一部事務組合

P16 住民の声

今号の写真

開発が進むレールウィング周辺施設です。

交流人口を増やす目的で建設が進んでいます。

議会は、設計段階から未来像を描くよう指摘しています。

まずは住民が集える場所づくりを目指しましょう。

レールウィング施設で 交流人口を増やす

課題は住民が集える場所づくり

皆様は、湯前駅レールウィング施設をご利用いただけましたでしょうか。

「まちなか賑わい」を目指して、レールウィングに3つの施設（まんが図書館、カフェ、展示体験施設）と、リニューアルした交流センター「湯～とびあ」を開設しました。これらは、関係者によるワークショップの意見を形にしたものです。

平成30年度はトイレ改修にも着工しました。住民の中には、「なぜ駅周辺の施設ができたのか？」という意見があるため、理解を深めていただくために本特集で取り上げました。

平成28年	6月～ 8月中旬	<p>◎関係者によるワークショップを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークショップで、レールウィングにまんが図書館、カフェ、展示体験施設の設置を決定。 <p><ワークショップメンバー></p> <p>[町内] 瀧本明吉さん、那須博幸さん、谷口幸範さん、上米良秀人さん、西美記子さん、地域おこし協力隊</p> <p>[町外] くま川鉄道 ほか</p>
	9月	<p>◎【全員協議会】まんが図書館など計画の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> まんが図書館とカフェは、国の地方創生交付金を使っているため、平成28年度で完了しないといけない。 3つの施設を集めることで、集客と賑わいができる。 まんが美術館、レールウィング、駅舎など観光施設の連動性も見込める。 レールウィングの基礎工事は、簡単な方法でできるという専門家の意見があった。
	12月	<p>◎【全員協議会】「駅周辺の活性化事業」説明（町長の考え）</p> <ul style="list-style-type: none"> 木のデッキは非常に高い評価があるので、事業を展開しながら全面張り替えの動きが出てくれば大変有り難い。 レールウィングは、先輩方が相当な金額をかけて作ったもので、そこを含めた活用をしっかりと作り込んでいくのが大変重要なこと。
平成29年	1月	<p>◎「地方創生 拠点整備交付金」2施設を申請</p> <ul style="list-style-type: none"> 湯～とびあ（販売スペースの拡張、観光案内所の新設） 展示体験施設
	10月	◎ まんが図書館 、 カフェ 、 展示体験施設 をプレオープン
	11月	<p>◎【全員協議会】湯～とびあ・レールウィング複合施設の指定管理を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者を2つに分けることで、サービスを含めた相乗効果が期待できる。
	12月	<p>◎【定例会】指定管理の条例改正を可決</p> <p>◎【全員協議会】トイレ新設の説明</p>
	12月	◎湯前駅周辺整備事業グランドオープン
平成30年	3月	◎【定例会】トイレ新設の予算を可決

町長の施政方針

▼平成28年度と平成29年度の施政方針で、町長は「町の玄関である駅を中心としたにぎわい創出に取り組みます。」と説明されました。

▼駅周辺の賑わいを創出する事業は、3期目当初（平成27年度）の所信表明にはなかった新たな事業となります。



プレオープンから1年を迎えた3つの施設

今後の課題

どうすれば住民が集えるか

①ビジョン策定と今後の展開

▼9月定例会で町長は「今後の展開が課題。議会の皆さまにお示しできるようなビジョンには至っていない。」と答弁されています。ステージや屋根の設置などの意見は、以前から出ています。

▼まずは、利用を見込める子育て世代や高齢者などの要望を聞く必要があります。



これまで活用が少ないレールウイングスペース

②レールウイングの老朽化対策

築30年ほど経過し、木材が腐敗して危ない箇所があります。中央モニユメントをどうするかも今後の課題です。

③車いすなど障がい者の対応

④費用対効果など施設の検証

初期コストと運用コスト（単位：万円）

施設	初期コスト			運用コスト
	設計管理費	工事費	合計	指定管理料 (平成30年度予算)
まんが図書館	253	1,139	1,393	奥球磨スマートタウン 研究所 380 (3施設348万円+ トイレ11月~3月分 32万円)
ユノカフェ	上記に含む	715	715	
展示体験販売施設	279	1,985	2,264	
トイレ ※当初予算	300	1,800	2,100	
湯~とびあ	258	1,612	1,870	
				湯前町観光物産協会 329

平成29年度決算を

全会一致で認定

再び町長の減給提案を可決

平成30年9月定例会は、6日から14日まで9日間の日程で開かれ、4人の一般質問の後、平成29年度一般会計および特別会計の決算認定、平成30年度の補正予算、条例改正などを審議しました。最終日には6月定例会に続き町長・副町長の減給条例が提案され、賛成多数で可決しました。また、8月10日に臨時会を開催しました。

平成29年度 決算認定

商工業の後継者対策助成金 近年の実績なし

▼後継者対策助成金は、平成27年度の1件を最後に、実績がありません。審査会も含めて見直しが必要です。

▼現状、農業の後継者には3年間の手厚い町独自の支援が始まりました。農業の方は実績が上がっています。若者定住も視野に入れた後継者対策を求めています。

小規模事業者持続化補助金 国の上乗せ見直しを

▼国の補助金上乗せ型だと、どうしても審査条件のハードルが高くなります。また申請手続き、事業報告、12月末までに事業完了と、多忙な対応になります。そのため、利用しやすい補助金とは言いがたいのが現状です。

▼商工会における小規模事業者持続化補助金の申請件数と採択件数は、平成28年度、平成29年度途中で16件の申請に対して採択7件、不採択が9件。国の申請が通らない場合の町独自の支援を求めています。

農業経営振興補助金 振興作物とは

▼平成29年度の実績は、苗代補助が28件、研修補助が下村婦人会や菊の研修（個人）で7件。振興作物の種類を増やし約54万円の支出。対象となる振興作物は、ブロッコリー、オクラ、ズッキーニ、かぼちゃ、甘長とうがらし、栗。

▼そもそも「振興作物」の定義が不明確です。補助金の目的は、総合計画・総合戦略にある農業所得の向上。「振興作物」の定義を明確にして、所得向上を目指した検討を求めています。

肉用牛・乳用牛の改良促進 補助制度の改善を

▼本町の畜産補助は、他町村に引けをとらない制度になっています。

▼生産者の中には、牛舎を増設して頭数を増やしたいなど、生産性向上を目指した前向きな考えもあります。課題は、自己資金（投資額）の限

界です。

▼生産者の高齢化、後継者不足の課題と直面している今こそ、生産者の需要があるうちに、選択と集中で補助制度を改善することを求めました。

消防団員の確保 年報酬や団再編の課題

▼「湯前町消防団員の定員に関する条例」第2条で団員の定数は290人ですが、現状は、機能別団員を含めても定数を割り込んでいます。

▼団員確保や報酬見直し、機



減少傾向の消防団員

能別団員のあり方など、課題の検討が必要でです。

社会体育の全国大会出場補助金 激励金制度の創設を

▼本町では、平成28年度から全国大会の宿泊費・交通費に対して2分の1を補助しています。（それ以前は全額補助）

▼一方、全国大会の栄誉を讃えて、激励金制度（5千円～1万円）を創設している自治体もあります。

▼本町の全国大会出場補助金は内部規定であり、住民に公開されていません。激励金制度の検討や住民への公表を求めました。

学校給食会計 私会計から公会計へ

▼文科省が7月27日発表した学校給食費の徴収調査では、給食費を公会計化した学校が、平成28年度で39.7%。同省は自治体による公会計化を促す方針を示しています。

▼本町は職員が給食費を徴収しますが、私会計です。より一

層の公正・透明性を確保し、厳正な徴収管理を行うために、公会計の検討を求めました。

**学校教育の振興
総合教育会議の開催を**

▼総合教育会議は、町長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策などを協議・調整する場です。新制度に移行し、総合教育会議を開催することになっています。

▼総合教育会議は、原則公開。「会議の透明化のため、会議の議事録を作成・公表すること」になっています。

▼本町の総合教育会議は、十分機能していません。積極的な会議の開催と、情報の公表を求めています。

平成30年度 補正予算

▼歳出 ※主なもの

レールウイング指定管理料
32万6000円

▼指定管理料の補正予算を審議する前に、「湯前町避難防

災交流施設の設置及び管理に関する条例」の一部を改正する条例を可決しました。

▼指定管理料は、トイレ管理とモニタメントの壁を利用したプロジェクトの壁をマップイング事業（11月～3月分）に対応するものです。

▼レールウイングのトイレ建設費は、平成30年度の当初予算で2100万円を計上。このトイレは、11月以降、指定管理者（奥球磨スマートタウン研究所）が管理します。



モニュメントに覆われたトイレ（建設中の写真）

**林業成長産業化地域
創出モデル事業補助金**
625万円

▼林野庁は、平成29年度から「林業成長産業化地域創出モ

デル事業」を実施し、林業の成長産業化を推進しています。平成30年度に上球磨地域が熊本県で初めて選定されました。

▼今回の補正予算は平成30年度の協議会立上げのソフト事業です。

▼対象事業者は、上球磨森林組合、湯前木材事業協働組合、協栄木材の3社で、平成34年度までハード事業にも取り組まれます。

全国消防操法大会の出場費
472万3000円

第2分団第1部は、10月19日に富山市の広域消防防災センターで開催された全国大会に県代表として出場しました。



全国に挑む第2分団1部(上下染田)

その他

- 上溝災害復旧工事測量設計委託料 100万円
- 応急仮設工事 80万円
- くま川鉄道経営安定化補助金 206万8000円
- 介護予防拠点施設整備補助金 1450万円
- 町道学校線歩道整備に伴う補償費 1080万円

選挙管理委員の選挙

議長による指名推薦により、選挙管理委員4人と補充員4人を全会一致で承認しました。

選挙管理委員 ※敬称略

- 地内 正巳 (植木) 再
- 平川 伊三男(上里3) 再
- 宮崎 勇市 (浅ヶ野) 再
- 中武 典子 (上里3) 新
- 選挙管理委員補充員
- 東 振作 (下村) 再
- 金山 充 (下村) 再
- 近藤 千秋 (中里2) 新
- 児玉 彩 (中里1) 新

条例改正

**本町初の单身者用住宅
選考委員会の必要性を問う**

▼若者定住住宅の建設に伴い、湯前町若者定住促進住宅管理条例を制定しました。

▼平成30年度、平成31年度で建設される若者定住住宅は、希望者がオーバーした場合、住宅入居者選考委員会で選考するとの答弁がありました。

▼「湯前町若者定住入居者選考委員会に関する規則」で定める選考委員は次のとおり。

①区長を代表する者2人



若者が入居したくなる充実した内装



入居者募集

②民生委員・児童委員を代表する者2人

▼規則の第3条で、「委員会は、住宅入居申込者の選考にあたり住宅困窮度合について審議し、入居順位について町長に意見を述べるものとする。」とありますが、若者定住住宅に関して公平・公正な抽選にしている自治体もあります。

**町長減給条例 賛否5対4
事実に基づく客観的な判断を検証**

▼「湯前町長等の給与及び旅費に関する条例」の一部を改正する条例を審議しました。原因は職員の不注意によるもので、交通指導員への平成29年度後期の報酬未払いの責任を取り、10月分に限り100分の20の減額。討論の末、賛成5反対4で可決しました。

▼会計年度内に予算の執行ができなかったことに対して、町長・副町長が減給条例を提案されました。

▼「また町長減給か！」と思われた方も多いでしょう。議

会の役割は、執行部提案の責任を重く受け止め、再発しないよう行政事務を監査することです。しかし、6月定例会（農業公社関連）に続き9月定例会でも議員の意見が分かれました。

減給提案の事実

①報酬未払いは、「会計年度独立の原則（地方自治法208条 第2項）」に反します。各会計年度における歳出は、その年度の歳入を充てなければなりません。

②湯前町財務規則 第38条 第3項 2号（支出負担行為）に反します。支出負担行為として整理する時期は、支出決定のとき。つまり、報酬は支出しようとする年度内での支払いとなります。

③報酬未払いの問題は、町長と副町長が責任を重く受け止めて自発的に提案された議案です。

④20%減給の根拠は、7月臨時会の減給条例に対する問題の再発防止ができていなかったことです。

討論の重要性

▼討論には、自らの意見があってもよいのですが、他の議員を自己の意見に賛同させる重大な責任があります。

▼自らの意見とは、事実に基づく客観的な判断によるものであり、聞いた話や感情論、事実に基づかない主観的な判断であってはなりません。

反対討論

金子議員

以前、農林振興課で発覚した未払いの件も含め、そこまですなければならぬのかという町民からの意見もある。職員の失念や、担当などが変わわり対応する暇がなかったのが発生したことと思う。公務員の立場として間違ってはならないのが前提だが、そこまで大きく捉えなければならぬ案件か疑問である。安易に町長の給与の責任を進めるような流れにするべきではない。

黒木龍次議員
減俸は1割で良いと思う。関係した職員が心の悩みなどに陥らないとも限らない。

議案	遠坂道太	椎葉弘樹	森山宏	黒木龍次	味岡恭	金子光喜	高橋一雄	黒木喜巳男	山下力	倉本豊	審議結果 (賛成：反対)
平成29年度（一般会計・特別会計）決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
平成30年度（一般会計・特別会計）補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	可決（8：1）
湯前町議会規則の一部を改正する議会規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
湯前町若者定住促進住宅管理条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
湯前町避難防災交流施設の置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）
湯前町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（交通指導員関連）	○	○	×	×	○	×	○	×	○	—	可決（5：4）
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：0）

○：賛成 —：採決なし（議長は採決に加わりません）

一般質問の録画中継 YouTube 動画で試行

4人の議員が9月定例会で一般質問を行いました。

地域おこし協力隊の森田さんに協力をいただき、一般質問の録画中継を試行しました。市販のビデオカメラで撮影し、できるだけコストをかけない方法を検討しています。

また、前々回（3月定例会）から試行していた関連質問を、9月定例会で湯前町議会規則を改正して本格導入しました。高橋、金子、椎葉、遠坂、味岡、山下の6議員が一般質問に対する関連質問を行いました。

関連質問とは？

執行機関に対する監査機能、政策提案機能を果たすため、一般質問議員の質問後に、他の議員から質問を補足するもの。一般質問を議場でひとりぼっちにしない効果的な取り組み。これは全国的にも事例は少なく、人吉球磨管内では初めての取り組みです。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目	通算 質問回数※
8	高橋 一雄	①障がい者支援の取り組み ②町営住宅の改修	8 (1)
9	金子 光喜	①専門職職員の広域での採用と任用	8 (1)
10	遠坂 道太	①町長の産業施策に関する12年間の検証 ②農業委員会からの意見書に対する対応	7 (1)
11	椎葉 弘樹	①ICT利活用の課題と今後の対応 ②教育課の事務所移設 ③今後の若者向け住宅政策	8 (1)
	味岡 恭		4 (1)
	森山 宏		2 (0)
	黒木 龍次		0 (0)
	黒木喜巳男		0 (0)
	山下 力		0 (1) (前議長)
	倉本 豊		2 (0) (議長)

※：数字は、平成28年11月 新体制以降の一般質問回数（全8回）、括弧数字は、平成30年9月以降の関連質問回数（全1回）

教えて議会

議員の発言権

発言自由の原則

▼議会は、「言論の府」といわれ、特に言論を尊重し、その自由を保障しています。
▼発言の自由には、節度が要求されます。発言の内容によっては自己の政治的、道義的責任を問われることもあり、さらに法令や会議規則に違反した発言は懲罰の対象となることもあります。

言論の府とは

▼議員活動の基本は言論であり、言論によって問題が決定されるという考えから、言論の府と呼ばれています。

▼議会が言論の府であるためには、言論の自由が保障される必要があります。このため、日本国憲法第51条では「両議院の議員は、議院で行った演説、討論または評決について、院外では責任を問われまい」と定めています。（免責特権）

▼最高裁の判例では、地方議員に免責特権が直接適用されないという判断です。しかし、発言の裁量が大きいという要請は国会議員と地方議員で共通します。

▼地方議会の議会基本条例では、言論の府を規定している自治体があります。

無礼の言葉は使えない

▼地方自治法の第132条で、議員は議会の会議や委員会において、無礼の言葉を使用することができません。
▼地方自治法の第133条で、侮辱を受けた議員は、これを議会に訴えて処分を求めることができます。

議会を傍聴しませんか

議会傍聴は、受付で名前を書けば、どなたでも入場できます。議会傍聴により、執行部と議員の緊張感が高まり、質疑や答弁のレベル向上が期待できます。お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

問 本町の法定雇用は

答 障がい者の雇用を
しっかり対応する



録画中継



高橋 一雄 議員

質問 国や自治体の障がい者雇用の水増しが問題になっているが、本町では法定雇用率2.5%を達成しているのか。

課長 毎年6月に熊本労働局に障がい者任免状況通報書を提出している。本町の法定雇用率は、1.5%となっている。ただし本町の法定雇用数は、職員66.5人を国が定める法定雇用率2.5%で計算すると1.66人(1.1人)となり達成している。

質問 法定雇用率は2.5%に達していないが、法定雇用数はぎりぎりセーフという状態。本町が法定雇用率の数値に達していないことを執行部は長年把握していたはず。障がい者の雇用を促進する法の趣旨に反するのではないか。県内でも長洲町4人、あさぎり町5人、球磨村5人などクリアしている。

課長 特別な身体障がい者枠は設けていないが、職員採用試験で障がい者の方を排除せずに受験できるようにしている。

町長 障がい者の雇用は、行政長としてしっかり対応していく。

事業主区分	法定雇用率	
	現行	平成30年4月1日以降
民間企業	2.0% ⇒	<u>2.2%</u>
国、地方公共団体等	2.3% ⇒	<u>2.5%</u>
都道府県等の教育委員会	2.2% ⇒	<u>2.4%</u>

障がい者の法定雇用率引き上げ(厚労省)

質問 障がいを持つている人も健康そうに見える人もあり、町民の中には、「障がい者のふりをして優遇されている」と誤解している人もいる。ヘルプカードはたいへん有効ではないかと考える。



本町窓口でも配布しているヘルプカード

課長 ヘルプカードは、内部障がい(外見で分かりにくい障がい)などで援助や配慮が必要な方が、周囲から見やすい箇所に携行して支援などを受けやすくするもの。保健センターと役場、中央公民館の窓口それぞれ設置して、自由にお取りいただくようにしている。今後も利用促進と、カード所有者に対して思いやりの行動をとっていただけるように周知していきたい。

質問 賃貸住宅のトラブル解消のため、民法が改正(2020年施行)され、国交省はガイドラインを改正し、畳表やふすまの張替は貸主負担となる。国交省所轄のUR都市機構は修繕負担の見直しを進めている。本町の考えは。

課長 国交省の公営住宅管理標準条例をもとに町条例を規定しており、軽微な修繕は、入居者に負担していただいている。公営住宅は、家賃の考え方が民間と違い低く抑えている。従来どおりの負担区分でよいと考えている。

問 民法改正に伴う町営住宅の修繕負担は

答 従来どおりの負担区分でよい



録画中継



録画中継

金子 光喜 議員

問 広域連携による専門職員
の採用や育成は

答 必要性が高い専門分野も
あるので調査したい

質問 地域包括支援センターを活用した保健師や、福祉社などの確保の可能性を検討した経緯は。

課長 通常、市町村の下に地域包括支援センターがある

が、上球磨の場合は特殊な例で、多良木町・水上村と共同で公立病院に設置しているため組織上の有利性があると思われる。まだ私案の段階であり、公立病院や構成町村との話し合いが必要。

質問 学芸員の採用は、まんが美術館運営のスキルが求められる上、歴史や文化財の調査や人吉球磨一体での日本遺産活用のため、広域的にシェアした方が研究などにもいいのではないか。

課長 人吉球磨は、仏像や建物といった共通点も多く、埋蔵文化財の知識など幅広く活躍する学芸員が求められる。美術と歴史でそれぞれいた方がいいのだが無理。他町村から借りることは、法的に問題がある。とりあえず1人は在籍してほしい。

質問 職員の再任用は、上球磨4町村や広域行政組合での再雇用の仕組みづくりを検討して、高い行政経験や専門知識を広域的に活用する制度にできないか。

課長 地方公務員法の関係条例で行政組合などには特殊規定が設けられており、一部事務組合の退職職員が構成町村への再任用職員へ、またその逆も雇用できる条文は有るので制度的には可能と思う。しかし、まだ行政組合でも検討されたこともないし、全国でも例がないと聞いている。

関連質問 椎葉議員 専門職員は、必要性を感じている課長もいれば、移動などで難しいと言われる課長もいるが、複数町村ではなく町単独での確保をどう考えるか。

町長 専門的な仕事の中で、例えば建設分野などは、設計や管理を外部にお願いして成果品を活用している。管理などどこまで専門性が必要なのか難しいところ。委託で外注する部分、内部でやる部分、どちらが効率的か考えないといけない。

人吉球磨管内市町村の職種別職員数の状況

平成29年4月1日現在

単位：人

市町村名	合計	一般行政職	税務職	薬剤師 医療 技術職	看護・ 保健職	福祉職	企業職	技能 労務職	特定任 期付職	教育職
湯前町	63	52	6	1	3	0	1	0	0	0
多良木町	114	85	9	1	6	8	3	0	2	0
水上村	54	34	5	0	3	7	0	5	0	0
錦町	96	75	11	1	6	0	2	0	0	1
相良村	66	57	7	0	2	0	0	0	0	0
五木村	48	39	4	0	2	2	0	0	1	0
山江村	61	52	5	0	4	0	0	0	0	0
球磨村	67	56	6	0	3	1	0	0	1	0
あさぎり町	190	152	15	3	9	0	10	0	0	1
人吉市	337	272	24	1	13	0	25	0	0	2

出展：平成29年地方公務員給与実態調査

問 町長12年間の産業政策は

答 ビジョンや方針の提示は
 厳しいが継続して
 取り組んでいる



録画中継



遠坂 道太 議員

質問 町長が初当選されたとき、町をどのようにしたいと思ったか。

町長 スローガンとしたのは、「活き活きと輝き誇れる町」

質問 農業機械および施設関係への補助が延べ39件図られているが、成果はあったのか。

町長 農家の所得が上がるようにという思いで補助を行っている。農家の皆様に、努力をいただいていると認識している。

質問 繁殖農家が高齢化に伴い年々減少傾向。繁殖農家の育成が課題だが、何か素案はあるのか。

町長 育成牧場などは、町でやったらどうかという意見もある。繁殖農家や酪農をどのように増やしていくのか、次世代の跡継ぎが厳しくなっていることと育成牧場との関係は、研究しないとわからない。

質問 J・Tになんらかの提案をしたのか。

町長 それぞれの課題はあるが、J・Tと関係があるときに提案しないといけない。

質問 商工観光は、何を重点

的に取り組み、その成果は。

町長 商工に関する補助事業、観光は駅前賑わいづくり、漫画を活用したまちづくり、歴史的文化財を活用したまちづくりなどを行ってきた。

質問 温泉を採掘したとき、他の利用を考えたのか。

町長 泉質の問題や配管の経費など、難しいところがあった。

質問 漫画フェスタは、町民の理解が薄れているのでは。

町長 住民の関心、意識が薄いのではという意見だと思える。地元の皆様思いが、必ずしも合致していないというのは、感じている。最終的に地元の経済につながるものが、課題ではないか。

質問 一般質問に対して、町長の考え方やビジョンなどは、はっきりした答弁をしていると思うか。

町長 質問に対して私の思いを申し上げている。確定したことはない。別のものである。そういう見え方をしてるのであれば、しっかりと受け止めておきたい。

問 農業委員会から提出された意見書の対応は

答 返答なし



録画中継

関連質問 椎葉議員 平成25年度以降、産業施策のビジョンや具体的な方針を示していないのではないのか。

町長 産業施策の課題の難し

さ、大きさを考えると厳しい側面がある。継続して政策や事業の展開などに取り組んでいるつもりであった。

質問 農業委員会から、平成29年11月13日に意見書が提出されているが、どのように対応したのか。

町長 意見書に対しての答弁がなかったことは、お詫びを申しあげないといけない。

関連質問 山下議員 町長は農業委員会法で提出されたという認識はあったのか。

町長 そのことの認識がなかった。



意見書提出(右から稲森会長、岩野会長職務代理者、尾崎 農地利用最適化推進委員代表)



椎葉 弘樹 議員



本町初となる独身者用の若者向け住宅

問 今後の若者向け住宅政策は

答 総合計画に織り込み継続



録画中継

質問 独身者用の若者向け住宅は現状、数は足りているのか。町長 今は足りていないのではないかと認識。質問 2020年度以降も継続して若者向け住宅を進める考えは。

町長 2018年度前半までに事業計画を立て、その後の事業着手ができるようにというところで指示している。その内容はこれから検討しながら進めていく。質問 総合計画を改定して、若者向け住宅を織り込む必要があるのでは。

質問 改善センターのロビースペースに教育課の事務所を移設すると、避難所としての利便性や、各種イベントへの影響があるのでは。町長 今、設計など検討段階なので、教育課における勤務対応の効率性も含めて考えていきたい。質問 教育課の移設前に、まずは漫画のまちづくりを検証しないといけない。検証結果はいつ議会へ報告する予定か。町長 担当課の意見を聴取し、今年度には出した。



教育課の移設が検討されている改善センターロビー

問 教育課の事務所移設は

答 今後、考えていきたい



録画中継

町長 若者向け住宅の定義も含めて、総合計画などに織り込まないといけない案件。担当課と協議をして指示を出したい。関連質問 高橋議員 女性向け若者住宅の考えは。町長 今後の課題という印象。

問 今後のICT戦略は

答 ICT関連事業の民間委託など方針や計画を策定する



録画中継

質問 町のネット通販の必要性は。町長 ネット販売も大きな市場という思い。質問 リニューアルしたホームページをいつ公開する考えか。町長 平成31年度で予算化することで進めている。質問 5年目を迎えるICT利活用推進協議会、いつまで続ける考えか。町長 基本的なものをもう一度つくりなおし、その後の展開を図らないといけない。質問 町のICT戦略、中期計画を策定する考えは。町長 今後、次の展開へつなぐためには、当然必要なものなので、基本的な計画、方針などを策定しないとけない。質問 民間委託が可能なICT関連業務を抽出して議会と協議する考えは。町長 どの部分が民間でできるかを含めて、しっかり協議しないとけない。担当課と取り組みたい。

厚生文教常任委員会

9月11日/10月25日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	高橋一雄
委員	金子光喜、森山宏、遠坂道太

次の所管事務を調査しました。

◎障がい者施策

◎学校給食

■本町障がい者の現状

- ▼(人数は平成30年7月末時点)
- ▼身体障害者手帳の所持者は277人。うち、肢体不自由156人、内部障害78人。
- ▼精神保健福祉手帳の所持者は23人。転入により増加。
- ▼療育手帳は56人。
- ▼障がい者の減少要因は、主に高齢者の死亡。
- ▼身体障害者手帳、精神保健福祉手帳、療育手帳の所持には、重複があります。

■福祉タクシー

- ▼障がい者の対象は、障害者手帳1級・2級と療育手帳A1・A2の重度の方。免許証の有無に関わらずタクシー券を出しています。
- ▼高齢者の対象は、65歳以上で免許を持たれていない方。
- ▼福祉タクシーの名称は、2019年度から『高齢者の移動支援』に変更することで説明を受けています。
- ▼障害者手帳3級〜6級までの方、療育手帳B1・B2の方で免許を持たれていない方を対象にするかが課題。

経済建設常任委員会

8月3日/9月11日

委員長	遠坂道太
副委員長	黒木龍次
委員	山下力、味岡恭、椎葉弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎集落営農

◎球磨畜産共進会(現地視察)

◎若者向け住宅

◎熊本県畜産共進会(現地視察)

■たらぎ大地

【設立背景】

- ・農地の87%を30アール以上耕作している農業者が占めている。
- ・平均年齢は全体で約65歳と、高齢化が進んでいる。
- ・4年後には、農業就業者の78%が65歳以上になる。

【組織体制と運営】

- ・平成30年3月22日設立
- ・組合員数270人(町内の

15集落営農組合および町内の農家)

・出資金一律2万円

【事業目標】

- ・作付けの団地化
- ・法人への農地利用権設定
- ・個人担い手との共存・共栄

■球磨畜産共進会

(現地視察)

- ▼人吉球磨の畜産農家より、育成牛1部29頭(本町2頭)、育成牛2部32頭(本町2頭)、経産牛7頭(本町2頭)合計68頭の出展がありました。

- ▼飼料作物の部に、乾燥の部12点、サイレージの部9点(本町1点)合計21点の出展がありました。

【本町の主な成績】

- 育成牛1部
名誉賞11席
なおこ号

(石井 逸生氏)

- 育成牛2部
名誉賞 首席
やすふく5号

(栗秋 和弘氏)

- 名誉賞10席
せとはな4の4号

(栗秋 和弘氏)
○経産牛
名誉賞2席
みずえ号

(栗秋 和弘氏)

- 飼料作物サイレージの部
名誉賞2席
イタリアンライグラス
(栗秋 和弘氏)

- ▼育成牛2部名誉賞首席の栗秋和弘氏の牛は、11月3日に開催された第41回熊本県畜産共進会に出展しました。



名誉賞首席に輝いた栗秋氏のやすふく5号

総務常任委員会

9月13日

委員長	森山宏
副委員長	黒木龍次
委員	黒木喜巳男、高橋一雄、 味岡恭

次の所管事務を調査しました。
◎企画観光課の事務内容

■企画観光課とは

▼4月1日に企画観光課が新設されました。企画観光課は、総務課の企画振興係と(旧)産業振興課の商工振興係および観光推進係を統合した組織です。総職員数の増減はありません。

▼本山課長を筆頭に職員一丸となり町の活性化に取り組まれています。

【企画振興係】

主な業務は、重要施策の企画、総合調整、総合計画、定住促進対策、公共交通、ふるさと納税に関することです。

【商工振興係】

主な業務は、商工業の振興、商工会運営指導、観光物産協会とレールウイング複合施設の指定管理、ふるさと会、企業誘致に関することです。

【観光推進係】

主な業務は、観光推進に関する、グリーンツーリズム、イベント行事・観光施設の管理、地方創生拠点整備交付金事業、広報情報発信に関することです。

【企画観光課の職員】

本山課長
射場企画係長
佐藤商工係長
岩野観光係長
勘米良主事
坂本主事

議会だより調査特別委員会

10月5日/10月22日

委員長	椎葉弘樹
副委員長	金子光喜
委員	森山宏、遠坂道太

■全国議会広報研修会

▼10月10日、遠坂議員と椎葉議員が東京の研修に参加しました。参加議会は205町村(熊本県からは、本町を含む7町村)

【研修内容】

- ①読み手に伝わる文章の書き方
- ②デザインの手で、もっと伝わる議会広報誌に
- ③最優秀賞及び優秀賞(総合2位)作に見る光彩を放つ編集力

【今後の行動】

▼昨年もこの研修に参加し、議会だよりを大幅に見直しました。きつかけになりました。
▼読者に伝わる編集、住民の



2つのスクリーンによる広い研修会場

目を惹きつける広報誌を目指すため、今後も広報研修会へ積極的に参加し、委員会の熱意と能力の向上に努めます。
▼全国の広報研修会の参加は今回2回目。新たな課題に基づき編集要領を改定して、今後の活動に活かします。



議員ボランティア活動の様子

議会清掃活動

8月1日、議員によるボランティア活動として、湯前駅周辺の草刈りと駅舎周辺の清掃を行いました。

国政レベルの地域課題を要望

地元選出国会議員への要望活動

8月29日～8月30日（東京都）

▼町議会では、国の政策として取り組むべき地域の課題を調査し、要望項目を取り纏めました。当初の予定は7月でしたが、台風7号の影響で8月に延期しました。

▼訪問先は、金子恭之衆院議員と松村祥史参院議員で、次の項目を要望しました。

- ①介護保険の公費負担支援
- ②少子化・子育て支援対策
- ③森林環境譲与税の配分基準
- ④農業支援事業の採択基準緩和及び補助率の引き上げ
- ⑤空き家対策

▼2日目は、㈱クレアンと山都町の関わり（①人事交流 ②企業誘致 ③販路拡大）を研修しました。



松村参院議員への要望活動



金子衆院議員への要望活動

地方創生とまちづくり～地域経済の好循環をつくる～

熊本県町村議会議員研修

10月4日（嘉島町民会館）

講師：横石 知一氏

- ◎葉っぱの販売（彩ビジネス）
- ◎高齢者が使える情報システムの開発
- ◎成功の秘訣「松竹梅戦略」
- ◎彩からの提言

▼講師は、徳島県上勝町の㈱いるどりを立ち上げ、葉っぱの販売で有名な方。議会活動や町づくりの主な視点を次のように指摘されました。

- 地方は人材不足。一人当たりの生産性をいかに向上するか。ICT活用は必須。
- 今の時代に応じた行動。
- 地域資源の活用。地域にある魅力を「発見・磨く・発信」することで、地域経済の血液となるお金を動かし、「ヒト・モノ・カネ」の好循環をつくる。
- やったことが自分に返るような出口戦略。

○あきらめず、やってみる。新たな挑戦。地方創生はまだやれる。

○人づくり。出番・評価・自信を磨き、人間力を向上する。『自分ごと』は、特に耳を傾け、特に行動する。舞台づくりが9割、事業が1割。

○高齢者が元気であれば、町も人も元気になる。「産業福祉」理論だけでは現場は動かない。現場の意見を活かす。特に、移住者と若者と先住民の考え方の違いを踏まえた共存・共栄。

○田舎の弱み（愚痴や批判、マイナス思考、固定観念などの古い習慣）を強みに変える施策。

○人も地域もワクワクする光輝くものをつくる。「松竹梅戦略」

○継続的に活用できないパンフレットの無駄。お金をかけてゴミを配る。

議員個人の特別研修

湯前町議会では、議会改革で議員の資質やスキルを高めるため、昨年度から議員個人を対象にした特別研修を設けています。議会を代表して参加し、研修成果を発表することが条件です。

議員	研修内容	成果発表
山下 力	【研修内容】大学の先生ではわからない実践的な質問のしかた[11月1日～11月2日] 【会場】東京都	未
森山 宏	【研修内容】議員が知っておくべき財政の話 基礎編[10月30日～11月1日] 【会場】東京都	未
遠坂 道太	【研修内容】質問方法スキルアップ初級編、質問方法スキルアップ応用編[7月19日～20日] 【会場】福岡市	済
椎葉 弘樹	【研修内容】議会のあり方と長との関係 [7月23日～25日] 【会場】東京都	済

上球磨消防組合議会

庁舎建設 本格始動

安全祈願祭を開催



安全祈願祭

▼上球磨消防庁舎・改築工事の安全祈願祭が、8月27日に現地で開催されました。
▼工期は、平成30年8月1日から平成31年4月26日まで。

臨時会

7月31日

上球磨消防組合消防庁舎などの改築工事

▼工事請負契約締結を承認
・契約の相手方 味岡・丸昭建設工事共同企業体
・契約金7億1820万円

高機能消防指令システム整備と消防・救急デジタル無線設備移設事業

▼工事請負契約締結を承認
・契約の相手方 三球電気(株)福岡支店
・契約金2億5272万円

議会選出監査委員の選任

前任の宇佐信行議員(多良木町)の副議長就任による辞任のため、後任に金子光喜議員が選任されました。

〈上球磨消防議員 金子〉

人吉球磨 広域行政組合

鹿兒島県の施設を視察

議員研修に31人参加

▼9月27日、28日で、鹿兒島県の3施設、「旬そおりサイクルセンター」、「養護老人ホーム寿光園」、「指宿広域汚泥リサイクルセンター」の視察研修に、広域行政組合議会から31人が参加しました。

▼「養護老人ホーム 寿光園」の視察は、施設の移管や新設に関わる費用など、福寿荘の民営化に参考となる情報を収集しました。

▼「旬そおりサイクルセンター」は、町議会の産業視察で



研修に参加したメンバー(寿光園にて)

2月に研修した場所でした。

▼「指宿広域汚泥リサイクルセンター」は、人吉球磨の汚泥再生処理センター(アクアパーク)と同様の施設でした。
▼次の定例会は、11月30日に開催予定です。

〈広域行政議員 黒木喜・椎葉〉

臨時会

8月9日

職員への残業代未払い

職員82人に約2100万円

人吉労働基準監督署の是正勧告で、未払い分の時間外手当2128万540円の増額補正が提案され、賛成11、反対2の賛成多数で可決しました。

定例会

8月31日～9月25日

本町議員が一般質問

〔遠坂議員〕

◎総合健診センターの方向性

〔味岡議員〕

◎医師招聘

◎労基指導分時間外手当

◎コンサルタントの仕事

◎職員体制

◎今後の病院の展望

〈公立病院議員 味岡・遠坂〉

公立多良木病院 企業団

病院全体の経営は赤字

平成29年度決算認定

▼平成29年度決算は、病院介護老人保健施設、総合健診センターの3事業で8746万5369円の純損失となりました。

▼純損失となった事業は、病院事業の1億323万595円と、総合健診センター事業の188万9917円の2事業です。

テーマを設定し、年4回にわたり住民の皆様から意見をいただきます。

住民の 声



テーマ 湯前町での子育て



上里1区
多良木 弥生 さん

○まず感想をお聞かせください

湯前町に来て7年目、自然が多く子育てには最適な環境だと思います。B & Gプールや体育館など利用料も安く、とても助かります。

海洋クラブのイベントなど、自然と触れ合う体験は、子どもたちにとってかけがえのないことだと思います。

○お困りのことはありませんか

特にありませんが、子どもたちの学校帰りや遊びに行ったときなど、地域の方々に見守っていただくと助かります。

部活動もなくなりますし、運動の機会を増やしていただけると助かります。

テーマ 町・議会への提案

○球磨和牛改良部会青年部の活動は

現在青年部の役員をさせていただいている中で、畜協や後継者同士での意見交換や、技術・知識向上を目的とした講習会や研修会を計画・実施しています。

畜産は年々進化しており、これから先を見据えた思考や経営が必要だと考えています。



上村区
石井 崇雄 さん
畜産業後継者

○ご提案はありますか

畜産に限らず農業全般でいえることですが、後継者が少なく高齢化が進んでいるので、農業をやめる方が増えており、この先どうになってしまうのか心配です。

どうかして後継者が湯前町に残れる、また帰ってこられるような施策を大いに希望しています。

「住民の声」にご協力いただける方は、議会事務局までお電話下さい。☎0966-43-4111

編集後記



- ▶ 7月の西日本豪雨の後、記録的酷暑の連日・台風・地震による大規模災害が列島各地で発生しています。甚大な被害は広範囲に及んでいます。
- ▶ 災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災された方々にお見舞い申し上げます。
- ▶ 湯前町では、BCP(業務継続計画)に加え初動マニュアルを作成しています。職員を交え「全員でやる」意識付に対処する防災担当に期待します。また、

災害情報・避難情報などの事前対策や避難所開設に感謝します。

- ▶ 収穫の秋を終え、「五穀豊穡」を喜びたいものです。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」を率先し、真摯に議会活動に邁進します。
- ▶ 今年は冷え込みが厳しい予報が出ています。寒冷対策はもとより、ご自愛ください。(森山)

◆議会だより調査特別委員会

私たちが編集しました。 委員長 椎葉 弘樹
副委員長 金子 光喜
委員 森山 宏
委員 遠坂 道太

